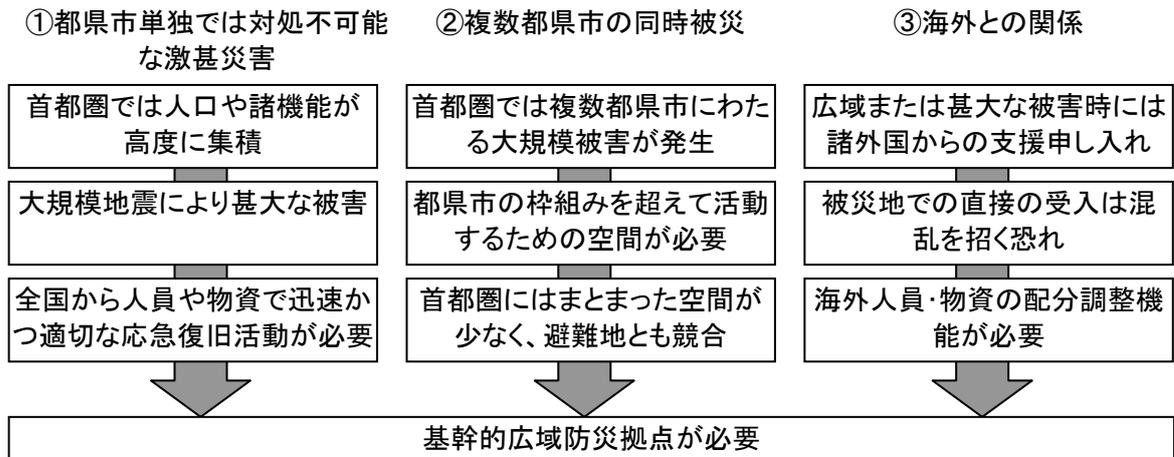


I 参考資料

(1) 基幹的広域防災拠点の必要性

基幹的広域防災拠点は、防災活動拠点として、国及び地方公共団体が協力し、都道府県単独では対応不可能な、広域あるいは甚大な被害に対して的確に応急復旧活動を展開するための施設であり(「首都圏基幹的広域防災拠点整備基本構想」、国が地方と合同で現地対策本部を設置するものとしている。



(2) 防災施設の面積要件

防災拠点は、その機能区分ごとに必要とされる面積要件が異なる。

| 機能区分 | | 公園種別 | 面積要件等 | 対象都市 | 対象地域等 ^(※4) | 補助対象となる災害応急対策施設 |
|-------|--------|-----------------|--------------------------|--------|---------------------------|---|
| 拠点機能 | 広域防災拠点 | 広域公園等 | 面積おおむね50ha以上 | — | — | <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄倉庫 ・ 耐震性貯水槽 ・ 放送施設 ・ 情報通信施設 ・ ヘリポート ・ 延焼防止のための散水施設 |
| | 地域防災拠点 | 都市基幹公園等 | 面積おおむね10ha以上 | 下記対象都市 | — | |
| 避難地機能 | 広域避難地 | 都市基幹公園 広域公園等 | 面積10ha以上 ^(※1) | 下記対象都市 | 下記対象地域①又は④に該当する地域 | |
| | 一次避難地 | 近隣公園 地区公園等 | 面積2ha以上 ^(※2) | — | 下記対象地域②、③、④のうちいずれかに該当する地域 | |
| 避難路 | | 緑道 | 幅員10m以上 ^(※3) | — | — | |

出典:「平成19年度 都市公園・緑地保全等事業予算概要/平成19年1月/国土交通省都市・地域整備局公園緑地課」

(3) 防災拠点のレベルの定義

【首都圏広域防災拠点整備基本構想 / 平成13年8月 / 首都圏広域防災拠点整備協議会】

| | |
|-----------|--|
| 基幹的広域防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●広域防災拠点のうち、防災活動拠点として、国及び地方公共団体が協力し、都道府県単独では対応不可能な、広域あるいは甚大な被害に対して的確に応急復旧活動を展開するための施設 |
| 広域防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●市町村域を超えた広域行政圏において、あるいは都道府県域を超えた大都市圏等において応急復旧活動の展開拠点となる施設や、被災地内への救援物資の輸送の中継となる施設等 |

【都市公園・緑地保全など事業予算概要 / 平成19年1月 / 国土交通省都市・地域整備局公園緑地課】

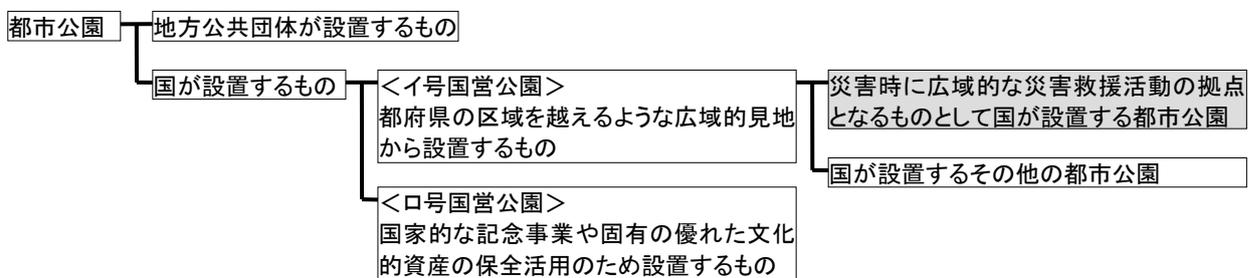
【防災公園計画・設計ガイドライン / 平成11年8月 / 建設省都市局公園緑地課・建設省土木研究所環境部監修】

| | |
|---------------|--|
| 広域防災拠点となる防災公園 | <ul style="list-style-type: none"> ●主として広域的な復旧・復興活動の拠点となる都市公園 ●面積おおむね 50ha 以上 ●都市の規模、または交通・物流の観点から妥当と考えられる対象圏域あたり1カ所 |
| 地域防災拠点となる防災公園 | <ul style="list-style-type: none"> ●緊急輸送道路その他の幹線道路により広域防災拠点や避難地との円滑なアクセス性を有し、災害時に自衛隊や消防隊、ボランティア等の救援救護活動基地、広域防災拠点や他の地域からの救援物資輸送の中継基地等の機能を発揮する都市公園 ●面積おおむね 10ha 以上 ●三大都市圏の既成市街地や隣接都市、県庁所在都市、政令指定都市、人口 10 万人以上の都市、など |
| 広域的避難地となる防災公園 | <ul style="list-style-type: none"> ●大震火災などの災害発生した場合において広域的避難の用に供する都市公園 ●面積 10ha 以上(周辺の空地と合わせて 10ha 以上となる 4ha 以上の都市公園、周辺の不燃化状況等を勘案して 10ha 以上の都市公園と同等の有効避難面積が確保されるおおむね 8ha 以上の都市公園を含む) ●おおむね 2km 圏域に1カ所 |
| 一時避難地となる防災公園 | <ul style="list-style-type: none"> ●大震火災などの災害発生時において主として一時的避難の用に供する都市公園 ●面積 2ha 以上(周辺の市街地等と一体となって、2ha 以上となるものも含む) ●おおむね 500m 圏域に1カ所 |

【都市公園法、都市公園法施行令】

| | |
|---|--|
| 災害時に広域的な 災害救援活動の拠点 となるものとして 国が設置する 都市公園 | <ul style="list-style-type: none"> ●<配置> 大規模な災害により重大な損害を生ずるおそれがある区域ごとに一カ所 ●<規模> 災害時に物資の調達、配分及び輸送その他の広域的な災害救援活動に必要な規模以上 ●<位置および区域> 災害時の物資の調達及び輸送の利便性を勘案して、広域的な災害救援活動の拠点としての機能を効率的に発揮する上で適切な区域 ●<公園施設> 広域的な災害救援活動の拠点としての機能を適切に発揮するため、広場、備蓄倉庫その他必要な公園施設を、大規模な地震に対する耐震性を有するものとして整備 |
|---|--|

※注



【広域防災拠点が果たすべき消防防災機能のあり方に関する調査検討会報告書 / 平成15年3月 / 総務省消防庁】

| | |
|------------|--|
| 広域防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●広域防災拠点は、災害時に広域応援のベースキャンプや物資の流通配給基地等に活用されるもので、概ね都道府県により、その管轄区域内に1箇所ないし数カ所設置されるものである ●国の都市再生プロジェクトの一つとして内閣府を中心に基幹的広域防災拠点の整備検討がなされているが、これは国の現地対策本部が置かれ、複数の被災都道府県や指定公共機関等の責任者が参集し、広域的なオペレーションの中核となる大規模で機能の特に充実した広域防災拠点の一つと考えられる。 |
| 地域防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●災害時に市町村等の現地活動拠点や中短期の避難活動が可能な避難地、あるいはコミュニティ防災拠点を補完する機能が期待される、小中学校単位もしくはそれらを包括する規模で設置されるもの。 |
| コミュニティ防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●町内会や自治会の単位で設置されるもので、地区の集会所を兼ねたコミュニティ防災センターと児童公園レベルのオープンスペースで構成される |

【臨海部防災拠点マニュアル / 平成9年3月 / 運輸省港湾局】

| | |
|---------|--|
| 臨海部防災拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●臨海部に整備される防災拠点であり、被災地の普及・復興の支援拠点として機能するものであり、耐震強化岸壁及び広場に、避難地や救援・復旧支援基地用地として多目的に利用可能なオープンスペース、必要に応じて緊急物資の保管施設、情報通信施設などにより構成される施設の集合体 ●背後人口30万人以上の港湾への整備を目標 |
|---------|--|

(4) 広域防災拠点などの機能

首都圏南西部の広域レベルの防災拠点の機能は下表のとおり整理される。

| 区分 | 施設種類 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--------------|-------|----------|--------|---------|
| | | 本部スペース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| | | | | | | | | | 緊急避難の場 | 避難中継地 | 一時集合場所、避難中継地 | | | | |
| 首都圏広域防災 | 基幹的広域防災拠点 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | | | | | |
| 臨海部防災拠点 | 大規模防災拠点 | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 防災拠点 | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | | ◎ | | | | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 都市公園・緑地保全事業予算概要 | 広域防災拠点となる防災公園 | ◎ | ◎ | | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| | 地域防災拠点となる防災公園 | ◎ | ◎ | | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 広域的避難地となる防災公園 | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | 一時的避難地となる防災公園 | ○ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | | |
| 消防庁広域防災検討会 | 広域防災拠点 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | | | | | |

※「首都圏広域防災拠点整備基本構想」「臨海部防災拠点マニュアル」「都市公園・緑地保全事業予算概要」より集成し作成

(5) 首都圏南西部(東京都・神奈川県)の防災拠点一覧

| No | 区分 | 施設名 | 所管 | 所在 | 面積 | 機能 | | | | | 公園との兼用 |
|----|--------------|--------------------------|---|----------------|--------|------|-----------|----------|------------|-----|--------------------|
| | | | | | | 本部機能 | 救援・復旧への支援 | 物資の物流・備蓄 | 避難や生活の場の確保 | その他 | |
| 1 | 国等が設置する防災拠点 | 立川広域防災基地 | 内閣府、国土交通省、警視庁、海上保安庁、消防庁、陸上自衛隊、厚生労働省、東京都、日本赤十字、食糧庁 | 東京都立川市緑町、泉町 | 115ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | △ 和念園隣 昭記公に接 |
| 2 | | 横浜海上防災基地 | 海上保安庁 | 神奈川県横浜市中区北仲通 | 2.0ha | | | | | | |
| 3 | | 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(有明地区) | 国、東京都 | 東京都江東区有明 | 13.2ha | ◎ | | ◎ | | | ○ |
| 4 | | 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(東扇島地区) | 国 | 神奈川県川崎市川崎区東扇島 | 15.8ha | | | ◎ | ◎ | | ○ |
| 5 | 都県が設置する防災拠点 | 東京都立川地域防災センター | 東京都 | 東京都立川市緑町 | 約1ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 6 | | 神奈川県総合防災センター | 神奈川県 | 神奈川県厚木市下津古久 | 6.6ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 7 | | 神奈川県横須賀・三浦広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県横須賀市公郷町 | 6.7ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 8 | | 神奈川県県央(東)広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県相模原市弥栄 | 約6ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 9 | | 神奈川県県央(西)広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県厚木市戸室 | 約6ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 10 | | 神奈川県湘南(東)広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県藤沢市善行 | 30.4ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | ○ |
| 11 | | 神奈川県湘南(西)広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県平塚市大原 | 30.3ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | ○ |
| 12 | | 神奈川県足柄上広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県足柄上郡開成町吉田島 | 3.1ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 13 | | 神奈川県西湘広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県小田原市荻窪 | 4.5ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 14 | | 神奈川県津久井広域防災活動拠点 | 神奈川県 | 神奈川県相模原市津久井町中野 | 約1ha | ◎ | ◎ | ◎ | | | |
| 15 | 政令市が設置する防災拠点 | 横浜市内陸型広域防災拠点 | 横浜市 | 横浜市港北区新横浜 | 70.4ha | | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ |
| 16 | | 横浜市長海型広域防災拠点 | 横浜市 | 横浜市西区みなとみらい地区 | 23.4ha | | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ |

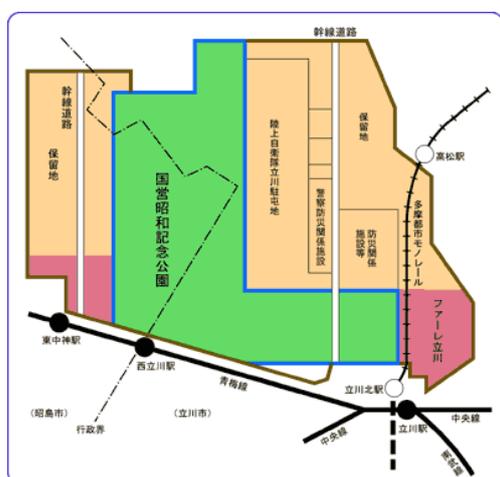
※本部機能のみの施設は除外した
 ※公式な面積が不明な施設の面積は、地図上で計測をおこなった

(6) 首都圏における主な防災拠点

【立川広域防災基地】

- 所在地：東京都立川市緑町、泉町
- 施設の概要
立川広域防災基地は、陸上自衛隊駐屯地、東京都(警視庁、消防庁)等と連携し、国営昭和記念公園(180ha)に隣接して一体的に機能するものとして整備。立川合同庁舎には官邸、内閣府、防衛庁のいずれも被災し、災害対策本部としての機能が失われた際の、国の災害対策本部予備施設として防災無線通信ネットワークや地震防災情報システムが整備されており、空輸による人員・物資の緊急輸送等や、緊急消防援助隊の運用、受入拠点として、南関東地域全体に関する災害応急対策活動の中核拠点として機能している。
- 所管：内閣府、国土交通省、警視庁、海上保安庁、消防庁、陸上自衛隊、厚生労働省、東京都、日本赤十字、食糧庁
- 面積：115ha
- 近隣施設：昭和記念公園(180ha)
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--|-------|----------|--------|---------|
| | 本部スペース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防・救援・医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 立川広域防災基地 | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | | | | | |



- ※陸上自衛隊立川駐屯地をはじめとした各組織の独立した施設の総称として「立川広域防災基地」と称している
- ※保留地部は現時点で利用の予定が決定されておらず、空閑地となっている
- ※東側の保留地(高松駅)付近を、立川断層が通過している

【横浜海上防災基地】

- 所在地 : 神奈川県横浜市中区北仲通
- 施設の概要

みなとみらい21の新港地区に位置し、第三管区海上保安本部横浜海上保安部等の庁舎として整備。大規模な海上災害の発生に対し、主に巡視船舶、航空機を利用した災害応急対策活動の中核拠点として機能している。

平常時は横浜海上保安部等による船舶基地、海上災害を想定した各種訓練、研究に利用されている。

- 所管 : 海上保安庁
- 面積 : 2.0ha
- 近隣施設 :
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--|-------|----------|--------|---------|
| | 本部スぺース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 横浜海上防災基地 | | | | | | | | | | | | | | |



【東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(有明の丘地区)】 ～ 整備中

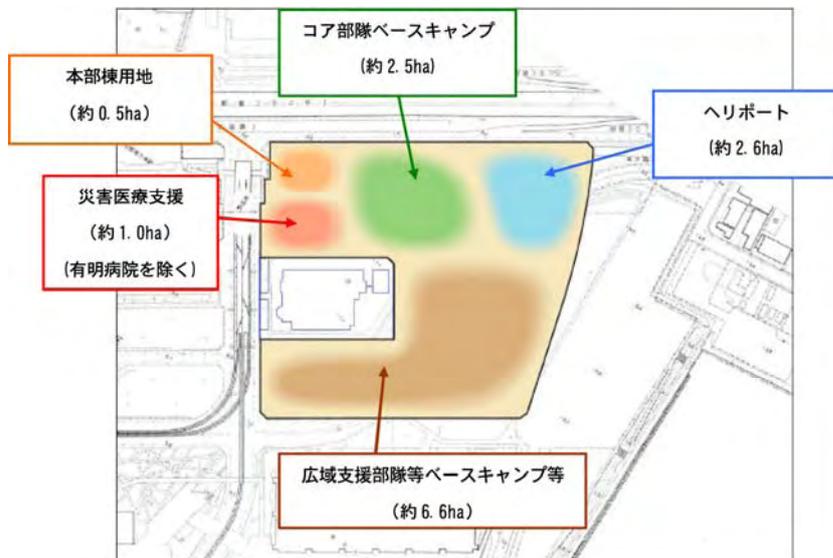
- 所在地 : 江東区有明3丁目
- 施設の概要

被災時においては、国・地方公共団体等の合同現地対策本部を設置し、首都圏の広域防災のヘッドクォーターとして機能するとともに、広域支援部隊などのコア部隊のベースキャンプや災害時医療の支援基地などとして機能するものとする。

また、平常時においては、本部棟などを活用し広域支援部隊などの合同訓練・研修や人々が防災に関する体験学習などを行うことができるようにするとともに、人々の魅力的な憩いの場として利用するものとする。

- 所管 :
- 面積 : 13.2ha
- 近隣施設 : 癌研有明病院(隣接)、有明コロシアム(200m)、有明テニスの森公園(300m)、耐震岸壁、国際展示場
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|-------|----------|--------|---------|
| | 本部スペース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療、救助活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 緊急避難の場 | 一時避難地 避難中継地 | 一時集合場所、避難中継地 | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(有明の丘地区) | ◎ | ◎ | | | | ◎ | ◎ | | | | | | | | |



【東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(東扇島地区)】 ～ 整備中

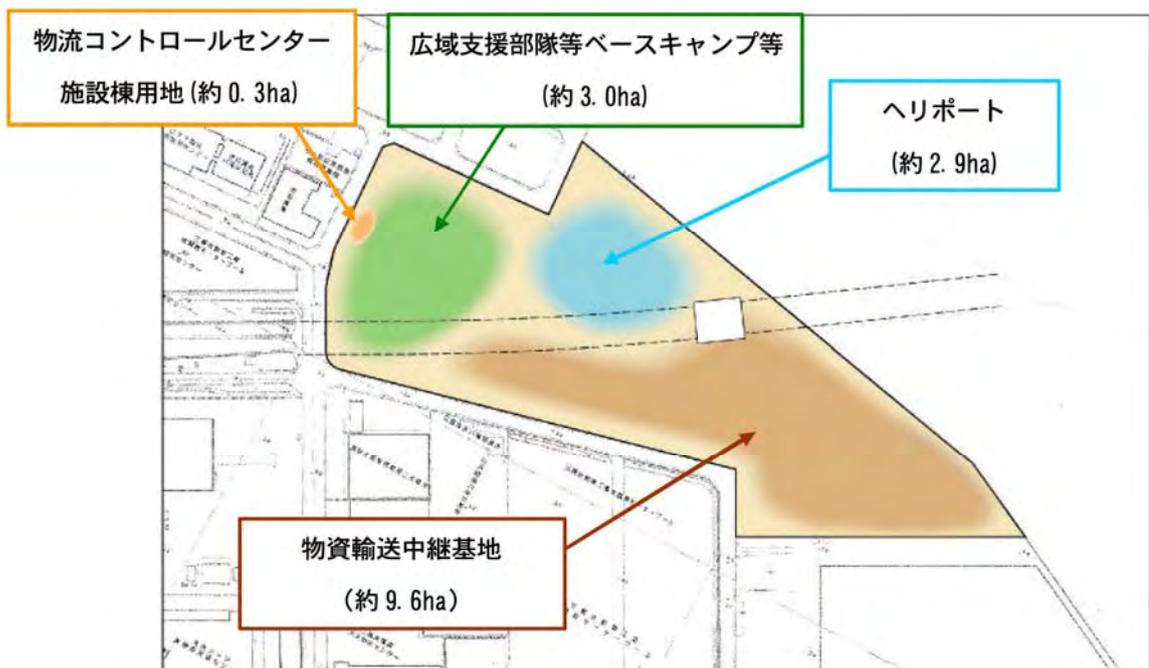
- 所在地 : 神奈川県川崎市川崎区東扇島
- 施設の概要

被災時においては、海外からの物資を初めとした物流に関するコントロールを行うとともに、海上輸送、河川輸送、陸上輸送等への中継基地や広域支援部隊等の一時集結地・ベースキャンプとして機能する。

また、平常時においては、市民の意見を勘案し、防災についても意識しつつ、人々の魅力的な憩いの場として利用するものとする。

- 所管 :
- 面積 : 15.8ha
- 近隣施設 : 耐震バース
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--|-------|----------|--------|---------|
| | 本部ス・ベース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(東扇島地区) | | ◎ | | ◎ | | | ◎ | | | | | | | |



【東京都立川地域防災センター】

- 所在地 : 東京都立川市緑町

- 施設の概要

東京都立川地域防災センターは、国の広域防災拠点である立川広域防災基地に隣接して立地している。72時間連続運転が可能な自家発電設備や貯水槽の整備をはじめ、電算機室や無線室は免震床とするなど、信頼の高い施設となっている。

- 所管 : 東京都
- 面積 : 約 1ha
- 近隣施設 : 立川広域防災基地、昭和記念公園
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--|-------|----------|--------|---------|
| | 本部スペース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療、救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 東京都立川地域防災センター | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | | | | | | | | |



【神奈川県総合防災センター】

- 所在地 : 神奈川県厚木市下津古久280番地
- 施設の概要

災害対策本部が設置された時、総合防災センターは県内を一体とした広域的・総合的な災害応急活動を行う災害対策本部直轄の中央基地として、各種の防災資機材や物資を備蓄するとともに、応急活動要員の集結・待機・出動、応急物資の受け入れ・保管・配分、搬送車両の集結拠点となる。なお、災害対策本部が被災した場合を想定して、総合防災センターに災害対策本部機能をあらかじめ付加されている。

- 所管 : 神奈川県
- 面積 : 6.6ha
- 近隣施設 :
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|-------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|-------|--|-------|----------|--------|---------|
| | 本部スぺース | ヘリポート | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受け入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| 神奈川県総合防災センター | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | |



【神奈川県広域防災活動拠点】

- 所在地： 県内8カ所
横須賀・三浦、県央(東)、県央(西)、湘南(東)、湘南(西)、足柄上、西湘、津久井
- 施設の概要
大規模な災害が発生した場合に、県が広域的に災害応急活動を行うため、あらかじめ指定した救援物資集積配分場所およびヘリコプター臨時離着陸場を有する場所
- 所管： 神奈川県
- 機能

| 施設名称 | 機能 | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
|---------------------------|--------|----------------|------------------|----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------------|--------|--------------|-------|----------|----|--------|---------------------------|
| | 本部スペース | ヘリポート け入れ用地 | 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 緊急輸送物資の中継・受入れ・一時保管場所 | 緊急物資の備蓄場所 | 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 救援・復旧活動基地 | 火災の延焼の遅延または防止用地 | 一時避難地 | | 最終避難地 | 一時的避難生活地 | | 仮設住宅用地 | がれき処理用地 |
| | | | | | | | | | 緊急避難の場 | 一時集合場所、避難中継地 | | | | | |
| 神奈川県横須賀・三浦広域防災活動拠点(横須賀市) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 県立横須賀工業高校 ● 横須賀新港 |
| 神奈川県県央(東)広域防災活動拠点(相模原市弥栄) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 県立弥栄東・弥栄西高校 ● 淵野辺公園 |
| 神奈川県県央(西)広域防災活動拠点(厚木市) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 県立厚木高校 |
| 神奈川県湘南(東)広域防災活動拠点(藤沢市) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 県立体育センター |
| 神奈川県湘南(西)広域防災活動拠点(平塚市) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 平塚市総合公園 |
| 神奈川県足柄上広域防災活動拠点(開成町) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 足柄上合同庁舎 |
| 神奈川県西湘広域防災活動拠点(小田原市) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 小田原合同庁舎 ● 酒匂川スポーツ広場 |
| 神奈川県津久井広域防災活動拠点(相模原市中野) | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | | ◎ | | | | | | | | ● 津久井合同庁舎 ● 津久井町総合運動公園 |

(7) 拠点整備の考え方(都県市へのヒアリング結果)

【神奈川県（2007/1/24、2007/2/16 災害消防課 岩渕主幹）】

- 総合防災センターと広域防災活動拠点は位置づけが異なるだけで、階層的な関係にはない。
 - ▶ 総合防災センターは、他県への支援や備蓄が主な目的
 - ▶ 広域防災活動拠点は、他県からの応援部隊受け入れが主な目的
- 総合防災センターの備蓄を補完するため、県内3カ所の備蓄基地がある。
- 広域応援活動拠点(県内182カ所)は、市が設置・運営する施設である。
支援部隊受け入れという面では、広域防災活動拠点と似ている。
- 緊急物資の受け入れは、総合防災センターと広域防災活動拠点の計9カ所全てで対応するが、代表としては総合防災センターが対応することになる。

【横浜市（2007/2/15 危機管理室 小森課長）】

- 中核的広域防災拠点は、神奈川県の広域防災活動拠点と似たような位置づけ
- 緊急物資の海側の受け入れは、耐震バースのある臨海部中核的拠点でおこなう。
- 市は広域応援活動拠点を中心に、支援部隊受け入れなどの防災活動を実施する。
- 横浜市には「地域防災拠点」という名称の施設があるが、震災時避難場所＝家屋倒壊時などの生活の場であり、応援活動や緊急物資輸送機能はもっていない。
- 内容物がわかる支援物資は支援者から区に直接搬送するが、内容物がわからない支援物資や義援物資は仕分けを実施するため市が窓口となる。
- 災害救助法の適用となる災害時には、区→市→県→被災地外の順に必要な物資の連絡をおこなう。

【川崎市（2007/2/16 危機管理室 松沢氏）】

- 避難所174カ所のうちの一部である51カ所を地域防災拠点として位置づけ
地域防災拠点を中心として地区ごとに避難所のネットワーク化を図っている。
- 市は広域応援活動拠点を中心に、支援部隊受け入れなどの防災活動を実施する。
警察、自衛隊、消防、応急危険度判定士など、それぞれで使用する拠点を区別している。
- 横浜市のような、集中的に応援部隊受け入れをおこなう拠点は考えていない。
- 物流は、陸、海、空ごとに1カ所の代表窓口を設けて他県からの緊急物資を受け入れた後、
分配のための拠点＝区役所に配送する。

(8) 防災拠点の機能

防災拠点にもとめられる機能について、主に「空間」の面から整理

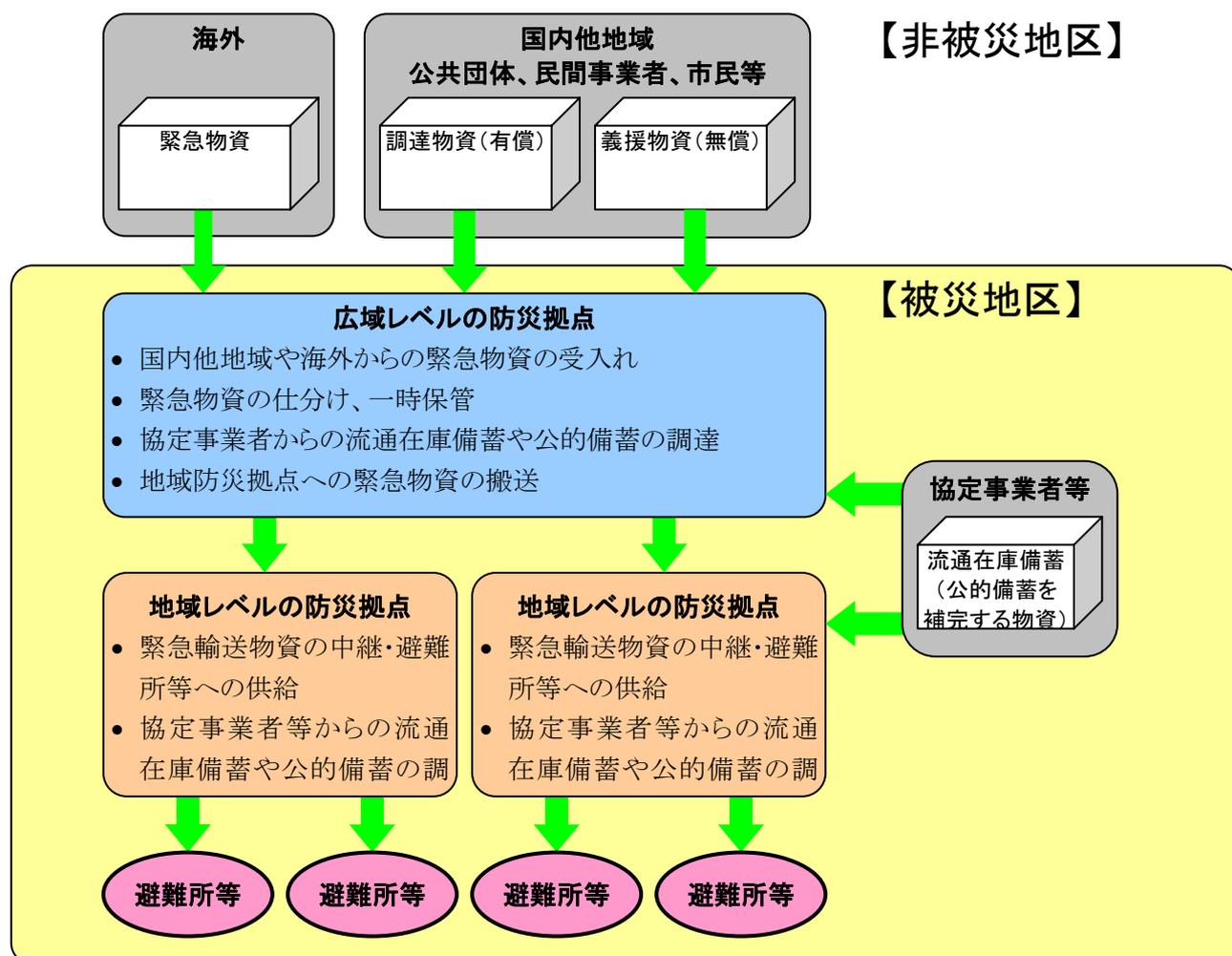
| 機能 | 内 容 | 施設規模の目安 |
|-------------------------|---|---|
| 本部スペース (本部機能、情報通信機能) | 被災地の情報収集・集約、被災都県市・関係各機関との連絡調整、応急復旧活動の指揮、緊急輸送物資の物流管理のためのスペース (庁舎被災時の代替、現地対策本部などとして利用) | 2,000m ² 程度 |
| ヘリポート | 重篤者搬送、医薬品等緊急物資の輸送、情報収集活動、報道活動などのためのスペース(これらの救援機による混雑が予想されるため上空の安全確保も必要) | 駐機数 7~9 機の場合 2~4ha 程度 |
| 海外援助物資・人員の受け入れ用地 | 海外援助物資・人員の集結、ベースキャンプ、投入箇所の調整などの、一元的な受け入れ窓口のためのスペース | |
| 緊急輸送物資の中継・受入れ・一時保管場所 | 被災地域外から被災地域内への医薬品・食糧・応急復旧資機材などの救援物資の集積、荷さばき、分配をおこなう中継拠点としてのスペース | 被災者一人日あたり 0.5m ² 程度 |
| 緊急物資の備蓄場所 | 水、食糧、医薬品、応急復旧資機材などの備蓄スペース | |
| 消防、救援、医療・救護活動支援用地 | 消防隊や自衛隊、地域住民、ボランティアなどによる消防・救援、医療・救護などの活動を支援するためのスペース | 被災者一人あたり 0.4m ² 程度 |
| 救援・復旧活動基地 | 広域支援部隊(警察、消防、自衛隊など)の応急復旧要員、防災ボランティアなどの拠点、休憩・宿泊スペース | 部隊(600人前後)規模 で 1ha 被災者一人あたり 0.2m ² 程度 |
| 火災の延焼の遅延または防止用地 | 市街地火災などの延長遮断、遅延のためのスペース | |
| 一時避難地 | 災害発生直後に、建物倒壊や落下物などの危険や余震から逃げ、緊急に避難する場 | |
| 最終避難地 | 災害発生後、火災が発生した場合などに、被災者が避難する大規模なオープンスペースや不燃かされた安全な空間 | 被災者一人あたり 2m ² 以上 |
| 一時的避難生活地 | もとの住宅で住めなくなった被災者が応急仮設住宅等へ入居するまでの間に一時的に避難生活を送る場 | 被災者一人あたり 10~15m ² 程度 |
| 仮設住宅用地 | 仮設住宅を設置する用地 | 1軒あたり26.4m ² (8坪) +通路等 |
| がれき処理用地 | がれきの仮置き・処分地 | 1,000m ² 以上 |

施設規模は、各種基準から抜粋した「目安」であり、詳細な寸法は施設の位置づけや目的などにより異なる。

(9) 緊急物資輸送の連携のイメージ

「首都圏広域防災拠点整備基本構想(H13.8 首都圏広域防災拠点整備協議会)」「緊急物資等の備蓄・調達に係る基本的な考え方 (H18.3 総務省消防庁)」などの資料においては、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震などの経験をもと、緊急物資の一元的な受入れや都道府県等による物資の統合的な管理について記載している。

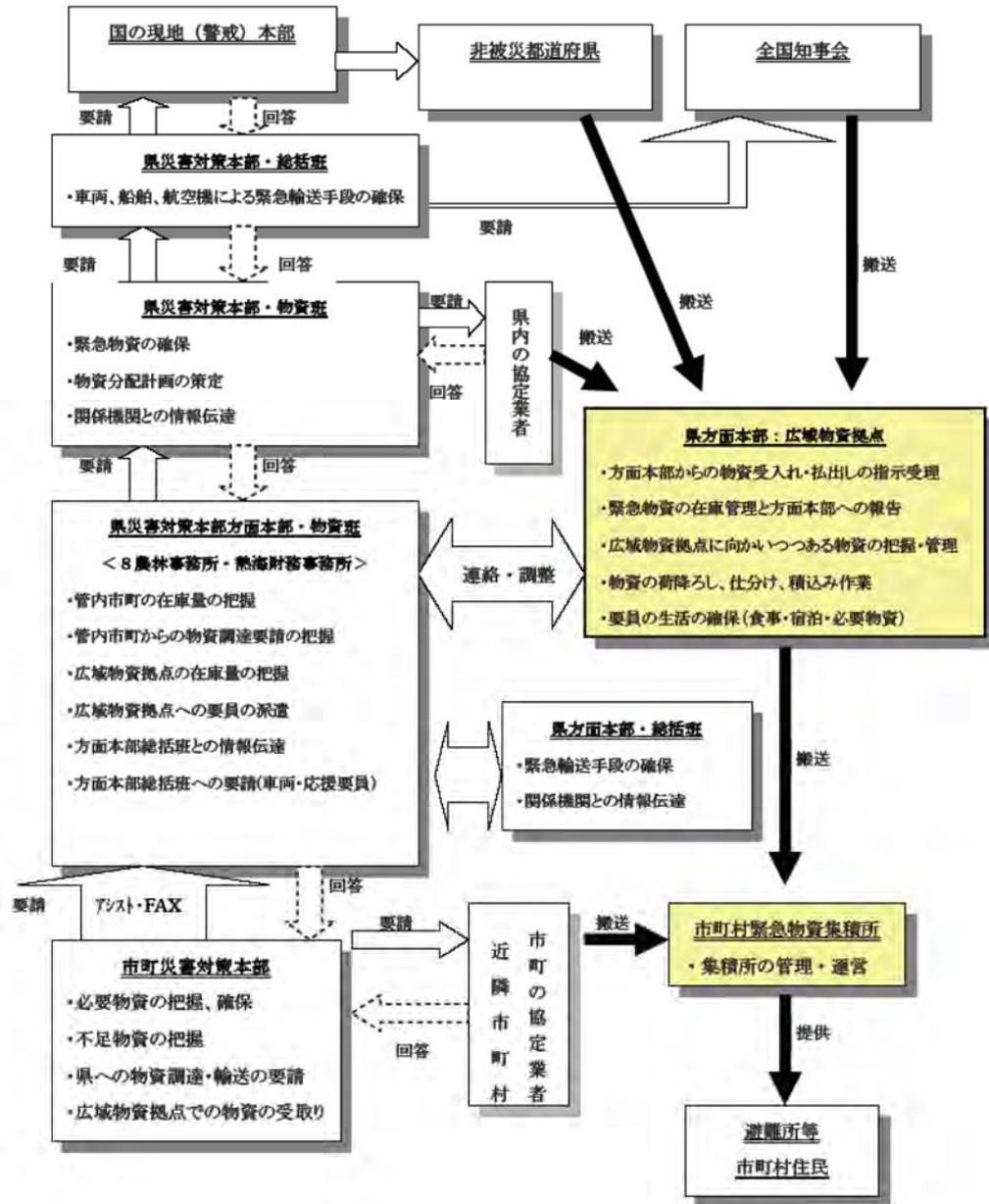
これらの考えを基に、大規模災害時の緊急物資輸送における防災拠点の連携・役割分担を模式化すると、下図のようなイメージになる。



「首都圏広域防災拠点整備基本構想(H13.8 首都圏広域防災拠点整備協議会)」「緊急物資等の備蓄・調達に係る基本的な考え方 (H18.3 総務省消防庁)」の内容を基に想定して作成

(10) 災害時の緊急物資輸送の体制の例(静岡県)

静岡県では、市町村で緊急物資の調達に困難な場合には、県方面本部を通じ、県内9カ所の広域物資拠点で仕分けし、それぞれの市町村に引き渡す体制をしいている。



静岡県の輸送体制図

出所：「広域物資拠点設置運営マニュアル(静岡県)」

(11) 緊急物資等の備蓄・調達に係る基本的な考え方

阪神・淡路大震災、新潟中越地震などの教訓をもとに、「緊急物資等の備蓄・調達に関わる基本的な考え方」では、①流通在庫備蓄にあたっての協定等の必要性、②緊急物資管理システムの構築、などの提案がなされている。

| 緊急物資等の備蓄・調達に関わる基本的な考え方 | |
|--|--|
| <p>平常時における地域対応</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1)住民等の備蓄・調達体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時持ち出し品の準備 ・避難生活のための3日以上 の物資備蓄 <p>(2)事業所の備蓄・調達体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が自宅に戻ることができるまでに必要な食糧などの備蓄 </div> <div style="width: 45%;"> <p>(1)市区町村と都道府県の役割分担明確化</p> <p>物資の備蓄・調達の役割分担を明確にし、住民等に役割を明示</p> <p>(2)公的備蓄のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低限、災害時の応急対策要員用の物資を確保 ・住民等では備蓄・調達しにくい物資などを確保 ・災害時要援護者の避難生活に必要な物資の検討 <p>(3)流通在庫備蓄のあり方</p> <p>公的備蓄を流通在庫備蓄で補う場合は予め民間事業所との協定等締結が望ましい。</p> </div> </div> | |
| <p>災害時における広域対応</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> <p>緊急物資の取り扱いに係わる留意点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><緊急物資の取り扱い></p> <p>緊急物資の要請や提供をおこなう際の物流の混乱を防止するために、全国的な基本ルールの設定が不可欠</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><義援物資・義援金の取り扱い></p> <p>(1)義援物資</p> <p>被災都道府県は被災市区町村と協議し、義援物資の取り扱いについての正確な広報が重要</p> <p>(2)義援金の取り扱い</p> <p>被災都道府県は、被災市町村と協議し、義援金の送付先などの正確な広報が重要</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><余剰分の取り扱い></p> <p>緊急物資等の余剰が生じた際は被災公共団体の独自裁量で有効活用</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>物資の確実な数量管理に係わる留意点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><緊急物資等管理システムの検討></p> <p>被災時には、緊急物資等の数量管理が確実に実施できる仕組み(緊急物資管理システム)の整備が不可欠。</p> <p>都道府県は予め緊急物資等の受入れ、仕分け・保管、搬送、分配・供給について緊急物資管理システムの検討、訓練などによる実効性の検証が望ましい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><システム運営に係わる留意点></p> <p>被災地内の緊急物資等の円滑な物流を確保するため、事前に受け入れ態勢、仕分け・保管体制、運搬体制、分配・供給体制を整備することが望ましい。</p> <p>物流集積拠点の確保のため、利用可能なオープンスペースのリストアップや既存施設の利活用の準備が望ましい。</p> <p>マンパワー確保のため、予め専門業者・流通業者やボランティアへの協力依頼など関係機関との調整が望ましい。</p> </div> </div> </div> | |

出所：「緊急物資等の備蓄・調達に係る基本的な考え方（H18.3 総務省消防庁）」

(12) 物資調達に係わる協定先と協定内容の例

東京都、神奈川県では、各種事業者と以下のような協定等を締結し、災害時に物資等を調達する計画としている。

協定項目は、主として公的備蓄(行政側の自主的備蓄)や被災者の自主的備蓄が困難なもの、物資輸送などの労務の提供、コンビニエンスストアによるトイレや情報の提供など、幅広い分野で協定が締結されている。

| 協定の項目 | 東京都の協定締結先の例 | 神奈川県の協定締結先の例 | 調達物資の例 |
|-------------------|--|---|---|
| 応急食糧の調達に関わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●東京食料事務所 ●米穀関係卸売業者14社 ●東京都パン協同組合連合会 ●日本即席食品工業協会 ●サンワーク ●明治乳業 ●ヒューテックノウリン ●森永乳業 ●雪印乳業 ●東京都味噌工業協同組合 ●東京都醤油工業協同組合 ●塩事業センター ●東京都漬物事業協同組合 ●東京都漬物事業協同組合 ●東京都漬物事業協同組合 ●東京都佃煮惣菜工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> ●農水省神奈川農政事務所 ●防衛省 ●神奈川件主食卸商組合 ●神奈川県米穀小売商業組合 ●農水省神奈川農政事務所 ●ミツハシ ●ジャンボリア ●神奈川県パン協働組合連合会 ●山崎製パン ●中村屋 ●フジパン ●第一屋製パン ●敷島製パン ●日清食品 ●東洋水産 ●神奈川県麺業協働組合連合会 ●ビーンスタークスノー ●明治乳業 ●森永乳業 ●神奈川県乳業協会 ●神奈川県味噌工業協働組合 | <ul style="list-style-type: none"> ●乾パン ●アルファ米 ●米 ●パン ●食パン菓子パン ●インスタント麺類 ●麺 ●粉ミルク ●牛乳 ●味噌 ●醤油 ●食塩 ●梅干し ●醤油漬け ●たくわん ●佃煮、煮豆 |
| 生活必需品などの調達に関わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●イワツキ ●ディーエヌピーロジスティックス ●東京都生活協同組合連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ●協定百貨店11社 ●協定スーパー26社 ●協定生協1社 ●協定卸協働組合5社 | <ul style="list-style-type: none"> ●各種生活必需品 |
| 応急復旧資機材等の調達に係わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●プレハブ建築協会 ●東京建設業協会 ●日本道路建設業協会 ●東京都中小建設業協会 ●南多摩建設業協会 ●北多摩建設業協会 ●西多摩建設業協会 | <ul style="list-style-type: none"> ●プレハブ建築協会 ●神奈川県建設業協会 ●神鉄連協働組合 ●日本橋梁建設協会 | <ul style="list-style-type: none"> ●応急仮設住宅 ●建設資機材 ●仮設橋 |
| 石油類取り扱い関係業者等 | <ul style="list-style-type: none"> ● | <ul style="list-style-type: none"> ●LPGガス協会 | <ul style="list-style-type: none"> ●LPGガス |

| 協定の項目 | 東京都の協定締結先の例 | 神奈川県協定締結先の例 | 調達物資の例 |
|--------------------------------|---|--|--|
| 医薬品等の調達に関わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●東京都医薬品卸業協会 ●大東京歯科用品商協同組合 ●日本医療ガス協会関東地域本部 ●東京医科器械商業組合 ●日本衛生材料工業連合会 ●東京都医師会 ●東京都歯科医師会 ●東京都薬剤師会 | <ul style="list-style-type: none"> ●神奈川県医薬品卸業協会 ●神奈川県医師会 ●神奈川県病院協会 ●神奈川県赤十字血液センター ●神奈川県川崎赤十字血液センター ●神奈川県湘南赤十字血液センター | <ul style="list-style-type: none"> ●医療品一般 ●血液製剤 |
| 災害時における帰宅困難者に対する支援に係わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●フランチャイズチェーン協会加盟コンビニエンスストア等13社 ●デニーズジャパン ●ロイヤル株式会社 ●ロイヤルカジュアルダイニング ●ドゥ・レストランツ・ファン (八都県市との協定) | <ul style="list-style-type: none"> ●フランチャイズチェーン協会加盟コンビニエンスストア等13社 ●デニーズジャパン ●ロイヤル株式会社 ●ロイヤルカジュアルダイニング ●ドゥ・レストランツ・ファン (八都県市との協定) | <ul style="list-style-type: none"> ●水道水やトイレの提供 ●ラジオやテレビ等で知り得た災害情報の提供 ●一時的な休憩の場の提供 |
| 車両等の調達に関わる協定 物資等の輸送業務に係わる協定 | <ul style="list-style-type: none"> ●調布空港協議会 ●日本救急医療財団 ●東京都トラック協会 ●東京都庁輸送事業協同組合 ●日本通運 ●東京バス協会 ●関東旅客船協会 ●日本船主協会 ●日本外航客船協会 ●日本内航海運組合総連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ●朝日航洋 ●エクセル航空 ●神奈川県陸運事務所 ●神奈川県陸運事務所 ●神奈川県陸運事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ●ヘリコプター ●航空機輸送 ●貨物自動車 ●乗り合い自動車 ●乗用自動車 ●船舶輸送 |

出所：「東京都地域防災計画 震災編（H15修正 東京都）」、「神奈川県地域防災計画 地震災害対策計画（H17.3 神奈川県）」を元に作成

(13) 調査対象地区における避難所収容人数と人口との対比

本業務の調査対象地区(神奈川県分)では、広域避難場所および一時避難場所の収容可能人数は、人口を下回る地区があるものの、おおむね人口を超えている。

平成15年4月1日現在

| 市町村 | 人口 | 広域避難場所 | | | | | 広域避難場所 + 一時避難場所 | | | | | |
|---------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------------|-----------|------------|-----------|-----------|------|
| | | 箇所数 | 面積 | 面積/人口 | 収容人数 | 収容人数/人口 | 箇所数 | 面積 | 面積/人口 | 収容人数 | 収容人数/人口 | |
| 横浜市 | 南区 | 196,400 | 6 | 1,049,000 | 5.34 | 181,137 | 0.92 | 6 | 1,049,000 | 5.34 | 181,137 | 0.92 |
| | 港南区 | 222,910 | 4 | 1,938,400 | 8.70 | 167,791 | 0.75 | 4 | 1,938,400 | 8.70 | 167,791 | 0.75 |
| | 旭区 | 254,029 | 6 | 2,820,200 | 11.10 | 213,941 | 0.84 | 6 | 2,820,200 | 11.10 | 213,941 | 0.84 |
| | 磯子区 | 163,756 | 6 | 2,213,500 | 13.52 | 209,724 | 1.28 | 6 | 2,213,500 | 13.52 | 209,724 | 1.28 |
| | 金沢区 | 205,784 | 13 | 1,601,800 | 7.78 | 186,485 | 0.91 | 13 | 1,601,800 | 7.78 | 186,485 | 0.91 |
| | 港北区 | 302,681 | 7 | 2,887,700 | 9.54 | 300,442 | 0.99 | 7 | 2,887,700 | 9.54 | 300,442 | 0.99 |
| | 緑区 | 166,828 | 7 | 1,607,800 | 9.64 | 181,715 | 1.09 | 7 | 1,607,800 | 9.64 | 181,715 | 1.09 |
| | 青葉区 | 283,832 | 10 | 2,302,800 | 8.11 | 239,337 | 0.84 | 10 | 2,302,800 | 8.11 | 239,337 | 0.84 |
| | 都筑区 | 167,762 | 7 | 893,500 | 5.33 | 188,317 | 1.12 | 7 | 893,500 | 5.33 | 188,317 | 1.12 |
| | 戸塚区 | 257,020 | 7 | 2,929,700 | 11.40 | 230,333 | 0.90 | 7 | 2,929,700 | 11.40 | 230,333 | 0.90 |
| | 栄区 | 119,483 | 6 | 1,200,600 | 10.05 | 143,091 | 1.20 | 6 | 1,200,600 | 10.05 | 143,091 | 1.20 |
| | 泉区 | 150,171 | 5 | 1,152,500 | 7.67 | 120,134 | 0.80 | 5 | 1,152,500 | 7.67 | 120,134 | 0.80 |
| | 瀬谷区 | 122,925 | 2 | 2,240,000 | 18.22 | 128,829 | 1.05 | 2 | 2,240,000 | 18.22 | 128,829 | 1.05 |
| | 小計 | 2,613,581 | 86 | 24,837,500 | 9.50 | 2,491,276 | 0.95 | 86 | 24,837,500 | 9.50 | 2,491,276 | 0.95 |
| その他横浜市 | 4,400,733 | 36 | 7,806,800 | 1.77 | 1,117,248 | 0.25 | 36 | 7,806,800 | 1.77 | 1,117,248 | 0.25 | |
| 川崎市 | 高津区 | 192,031 | 3 | 543,662 | 2.83 | | | 24 | 689,965 | 3.59 | | |
| | 宮前区 | 202,486 | 1 | 120,000 | 0.59 | | | 25 | 297,066 | 1.47 | | |
| | 多摩区 | 200,563 | 4 | 1,141,622 | 5.69 | | | 25 | 1,303,323 | 6.50 | | |
| | 麻生区 | 147,032 | 1 | 98,386 | 0.67 | | | 25 | 254,283 | 1.73 | | |
| | 小計 | 742,112 | 9 | 1,903,670 | 2.57 | | | 99 | 2,544,637 | 3.43 | | |
| | その他川崎市 | 542,851 | 11 | 1,657,950 | 3.05 | | | 92 | 2,223,211 | 4.10 | | |
| 鎌倉市 | 167,683 | 17 | 1,321,420 | 7.88 | 554,042 | 3.30 | 17 | 1,321,420 | 7.88 | 554,042 | 3.30 | |
| 藤沢市 | 388,200 | 23 | 1,867,157 | 4.81 | 751,400 | 1.94 | 23 | 1,867,157 | 4.81 | 751,400 | 1.94 | |
| 茅ヶ崎市 | 224,847 | 7 | 1,868,206 | 8.31 | 727,810 | 3.24 | 38 | 2,443,739 | 10.87 | | | |
| 相模原市 | 旧相模原市 | 616,355 | 21 | 6,053,500 | 9.82 | 2,090,900 | 3.39 | 480 | | | | |
| | 相模湖町、津久井町 | 40,060 | 5 | 29,537 | 0.74 | 11,000 | 0.27 | 5 | 29,537 | 0.74 | 11,000 | 0.27 |
| 大和市 | 217,670 | 13 | 2,148,677 | 9.87 | 1,074,336 | 4.94 | 13 | 2,148,677 | 9.87 | 1,074,336 | 4.94 | |
| 海老名市 | 120,220 | 18 | 324,311 | 2.70 | 187,422 | 1.56 | 18 | 324,311 | 2.70 | 187,422 | 1.56 | |
| 座間市 | 127,842 | 22 | 1,435,262 | 11.23 | 394,024 | 3.08 | 22 | 1,435,262 | 11.23 | 394,024 | 3.08 | |
| 綾瀬市 | 81,713 | 26 | 1,167,542 | 14.29 | 507,471 | 6.21 | 26 | 1,167,542 | 14.29 | 507,471 | 6.21 | |
| 寒川町 | 46,576 | 10 | 249,815 | 5.36 | 74,140 | 1.59 | 37 | 283,451 | 6.09 | 76,460 | 1.64 | |
| その他神奈川県 | 2,120,068 | 258 | 8,691,110 | 4.10 | | | | | | | | |
| 対象地域合計 | 5,346,799 | 252 | 43,177,060 | 8.08 | | | | | | | | |

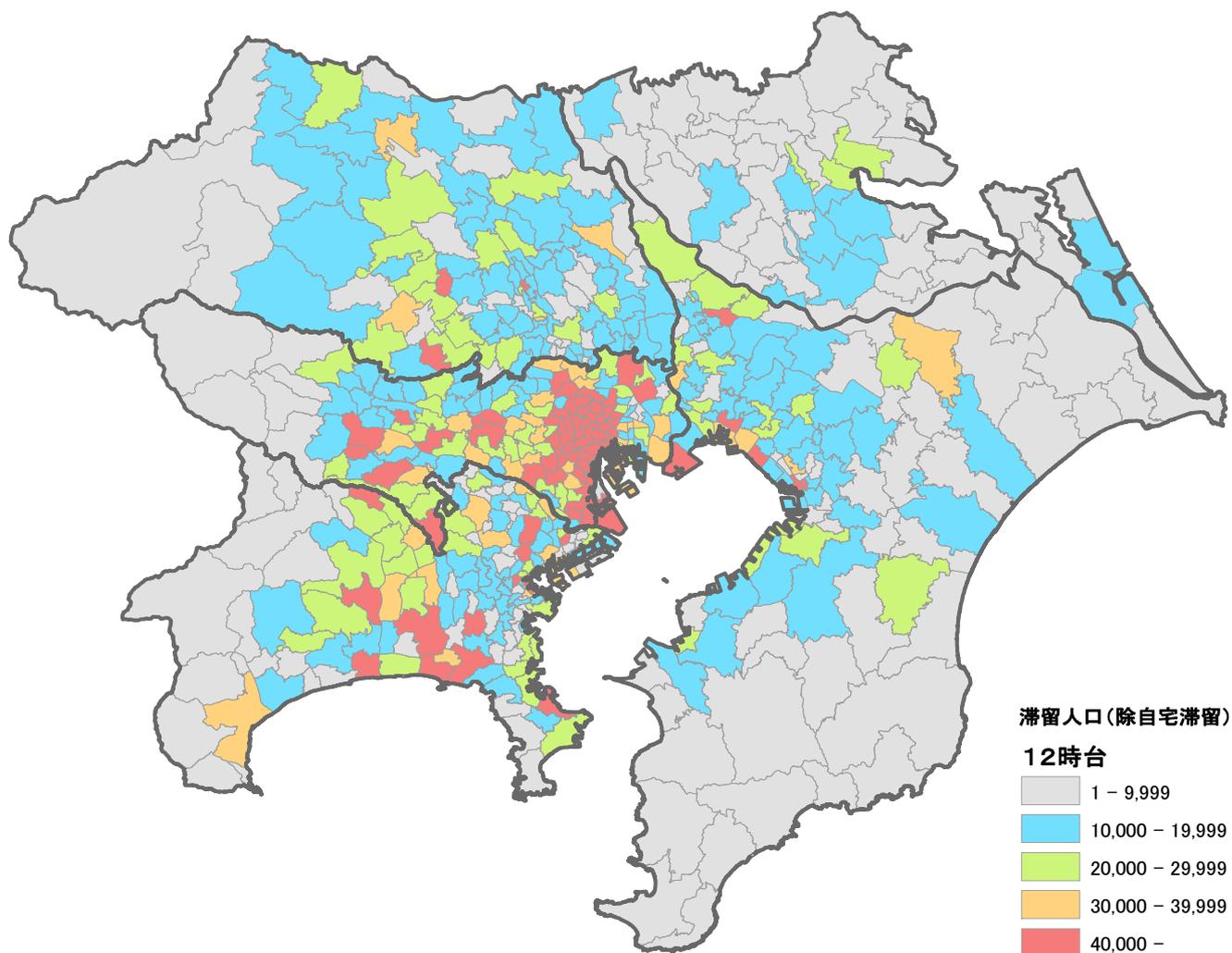
※「広域避難場所」とは、大地震時に周辺地区からの避難者を収容し、地震後発生する市街地火災や津波から避難者の生命を保護するために必要な面積を有する公園、緑地等の空地（オープンスペース）を指す。「一時避難場所」とは、広域避難場所へ避難する前の中継地点で、避難者が一時的に集合して様子を見る場所又は集団を形成する場所とし、集合した人々の安全がある程度確保されるスペースをもつ公園、緑地、学校のグラウンド、団地の広場等をいう。
 ※上瀬谷通信所（瀬谷区）、深谷通信所（泉区）、根岸住宅（中区、磯子区、南区）、池子住宅のうち横浜市内分（金沢区）、相模原補給廠（相模原市）、座間ゴルフコース（相模原市）は、広域避難場所に指定されている。

出所：「神奈川県地域防災計画 地震災害対策計画（H17.3 神奈川県）」、神奈川県統計課ホームページデータを元に作成

(14) 首都圏における滞留人口の想定

首都圏では、郊外部から東京都区部への通勤目的を中心とした日常的な交通が多く、日中 12～15 時第に最大の自宅外滞留人口が発生すると想定される。

首都直下型地震の発生など、大規模災害がこの時間帯に発生した場合、この最大の自宅外滞留人口と移動中の人口が帰宅希望者と考えられ、自宅から一定距離以上離れた地域に滞留している人口が帰宅困難者になると想定される。



(15) 要帰宅者による道路負荷量状況

大規模災害発生時に、自宅外滞留人口が仮に一斉に徒歩で帰宅すると想定した場合、都心部から郊外方向に向かう幹線道路の負荷が増大すると想定される。

上瀬谷地区、深谷地区、小柴地区に近接する主要な放射方向の幹線道路は、10～15 万人の要帰宅者による道路負荷が生ずると想定される。

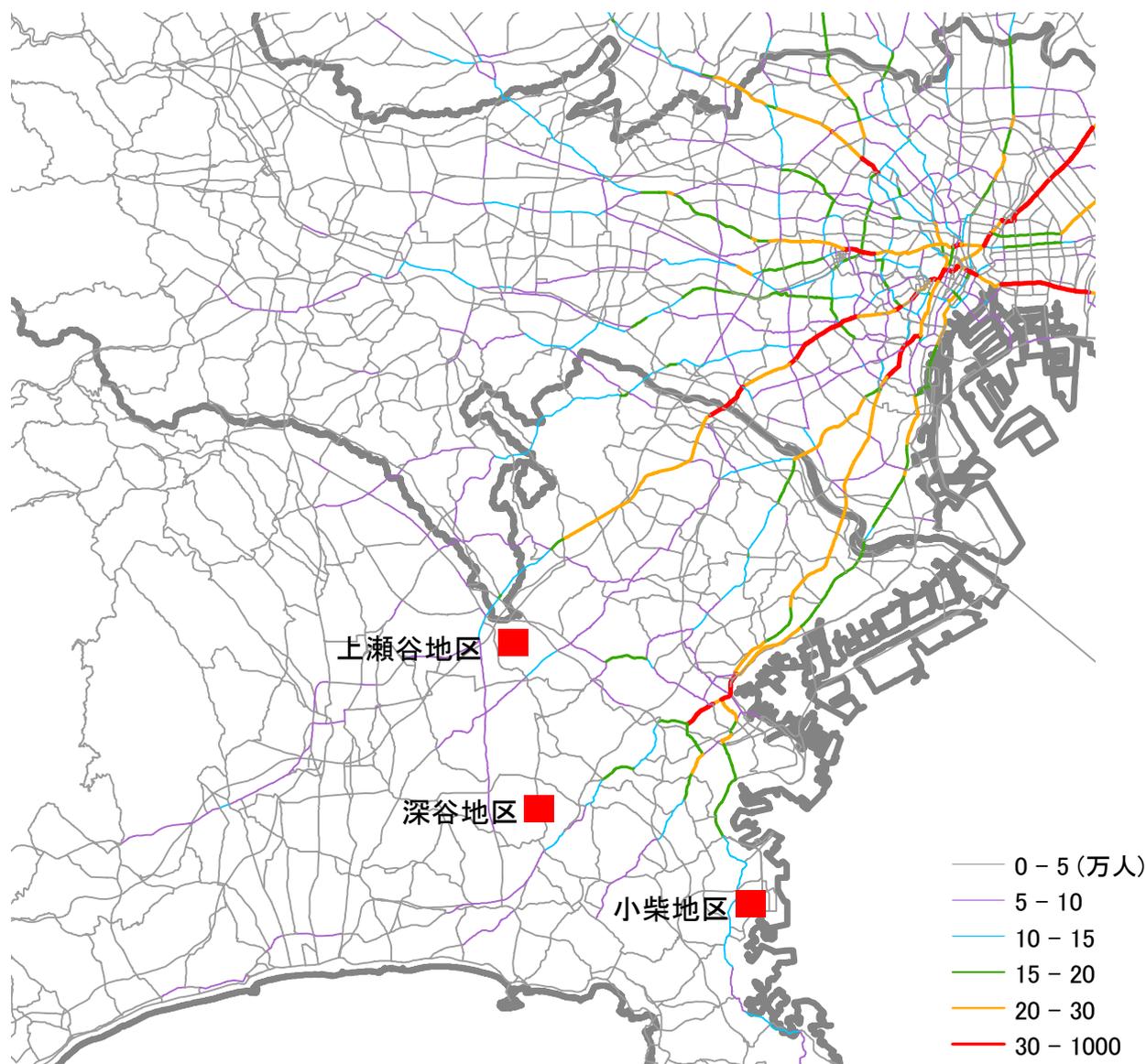


図 要帰宅者による道路への負荷量(12時台)